



きらら としょかん



新屋図書館だより

発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 TEL 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No.272

R7.6・7月号

かぞくぶっくぱっく リニューアル！

6月、「かぞくぶっくぱっく」の
中身を総て入れ替えました。

おすすめポイント1

新しく購入した本がたくさん！

おすすめポイント2

“みえるぱっく”と“ひみつぱっく”で
楽しみ方2倍！



夏休みに向けて！

新屋図書館は、
みなさんの夏休みを応援します！

調べ学習や自由研究に役立つ本を
展示し、貸し出します。

期間：7月15日（火）

～8月24日（日）



6月は環境月間です



「生物多様性」「水」「プラスチックゴミ」などをテーマに、
環境月間にちなんだ展示を行います。

みんなで地球のこと、環境のこと、考えてみませんか？



6・7月のおはなし会



おはなしのへやで
開催します

6月 7日（土）	14：00～14：40	雨～絵本・カタコト人形～（幼児～小学生）
7月 5日（土）	14：00～14：40	願いごと～絵本・小道具を使って～（幼児～小学生）
6月10日（火）	10：30～10：50	あめふり～絵本・カタコト人形～（赤ちゃん～）
7月 8日（火）	10：30～10：50	おひさま にこにこ～絵本・紙芝居～（赤ちゃん～）



新 着 案 内

楽しい日本酒学入門 お酒好きのための教養講義

新潟大学日本酒学センター／編著

河出書房新社 請求記号 588.52 (清酒)

2018年に新潟大学で始まった「日本酒学」。本書は、その講義内容をわかりやすくまとめた1冊です。日本酒の文化や歴史から、醸造の技術、利き酒やフードペアリング、他のアルコール類との特徴の比較など、日本酒を深く愉しめる、幅広い内容を網羅しています。

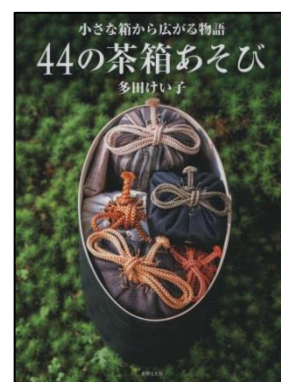


44の茶箱あそび 小さな箱から広がる物語

多田 けい子／著

世界文化社 請求記号 791.5 (茶道)

茶箱とは、お茶を点てる道具一式を箱や籠にまとめて持ち運びできるようにしたもの。本書は、茶道のルールに従いながらも、著者の自由な発想で茶道具を組み合わせた44の茶箱を収録。季節に合わせた箱から西洋風の箱まで、バラエティに富んだ茶箱が紹介されています。

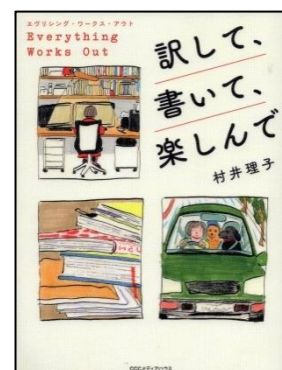


訳して、書いて、楽しんで エブリシング・ワークス・アウト

村井 理子／著

CCCメディアハウス 請求記号 801.7 (翻訳)

数々の海外作品を翻訳し、現在ではエッセイストとしても活躍する著者のお仕事エッセイ。「出版翻訳家の仕事とは?」「どのくらい稼げるの?」知られざる出版翻訳の実態や、書くことで埋め尽くされた著者自身の生活について語ります。

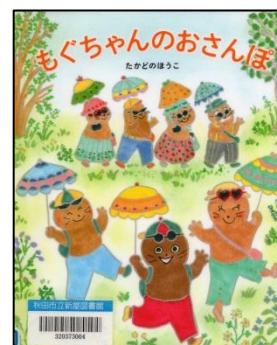


もぐちゃんのおさんぽ

たかどの ほうこ／作

こぐま社 請求記号 Eタ (絵本) ※3歳から

地下のもぐらマンションに住んでいるもぐちゃん一家。今日はみんなでおさんぽです。お日さまはにがてなので、外を歩くのはちょっとだけ。サングラスをかけて、カラフルな日がさを持って、さあ出発! おでかけが楽しくなる絵本です。





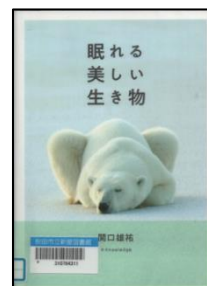
図書館員のおすすめ本

眠れる美しい生き物

関口 雄祐／著

エクスナレッジ 請求記号 4 8 1. 3 (動物生理学)

所蔵 明德館、新屋



表紙の写真は、獲物を待っているうちに眠ってしまったホッキョクグマ。気持ち良さそうな寝姿が印象的な1冊です。

本書では、多様な生き物たちの睡眠時間や寝床、寝るタイミングが紹介されています。木の上で眠るヒョウ、仲間と手をつないで眠るラッコ、垂直姿勢で眠るマッコウクジラ。砂漠のギャング・ミーアキャットは群れの中での順位が低いほど睡眠時間が少ないそうで、働き疲れて寝落ちしている珍しい姿も収録されています。普段は気性が荒い生き物も、眠っているときは皆穏やかかつ幸せそう。ページをめくる度に思わず笑みがこぼれてしまいます。

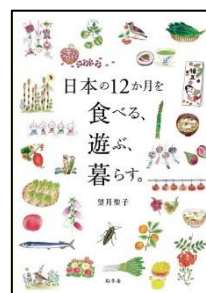
写真集としても楽しめる、動物と睡眠の解説書。面白く可愛い生き物たちの寝姿に、きっと癒されますよ。

日本の12か月を食べる、遊ぶ、暮らす。

望月 聖子／著

幻冬舎 請求記号 5 9 0. 4 (生活科学)

所蔵 新屋、イソップ号



みなさんは四季折々の暮らしをどのように楽しんでいますか？本書は、自然と共に暮らすおばあちゃんが書き綴ったイラスト歳時記です。

月ごとに、その季節ならではの行事や遊び、花や植物、自分の畑で育てた旬の野菜、そこに訪れる虫や動物たちを、色鉛筆で描いたイラストで紹介しています。色鮮やかなイラストは見ただけで楽しく、そこに添えられた言葉は、何気ない日常にたくさんの幸せがあることに気付かせてくれます。忙しい中でも、季節を味わえることで毎日が豊かになることを教えてくれる1冊です。

「雨に濡れる花の色は他の季節にはない美しさ」。6月に添えられた言葉です。梅雨の季節が今年は違って感じられるかもしれませんね。

記事になったお酒の話題あれこれ…酒かすを活用…

スピリッツを醸造する「早苗饗（さなぶり）蒸留所」が男鹿市船川港に誕生しました。鉄工所を改修し、令和7年2月から本格稼働。蒸留機はドイツ製のものを2台導入したそうです。

この蒸留所は、酒かすからアルコールを抽出することでスピリッツやジン、リキュールなどを製造します。本来、酒かすは、加工や流通が難しく、一部の酒造会社を除き引き取り手が少ないという特徴があるのですが、酒かすを資源に変えると同時に蒸留酒の可能性を広げていこう、というのが「早苗饗蒸留所」のねらいです。

今後どのような商品が開発されていくのか、期待が膨らみます。

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】

日本経済新聞 2025年2月5日

秋田魁新報 2025年5月2日

今、あなたへ…和菓子…



6月16日は和菓子の日。「五感の芸術」といわれる和菓子の世界を楽しんでみませんか？

『知ると楽しい！和菓子のひみつ』（「和菓子のひみつ」編集部／著、メイツ出版）は、和菓子の歴史や種類などの基礎知識から、行事との結びつきや全国の郷土菓子まで、写真やイラストでわかりやすく解説しています。

デパ地下の和菓子屋が舞台となっている小説『和菓子のアン』（坂木司／著、光文社文庫）は、和菓子にまつわる謎解きと、読み進めるほどに食べたくなってしまう和菓子の描写が魅力的です。

和菓子を手作りするのはハードルが高そう…、と思われる方には『米粉で作るうれしい和のおやつ』（森崎繭香／著、立東舎）がおすすめです。



図書館員のひとりごと

平成5年の入所式で、当時の秋田市長I氏から教育委員会への出向を拝命。以来、秋田市立図書館の司書として、土崎図書館、中央図書館、明徳館を行ったり来たりしていましたが、この5月、初めて新屋図書館に配属されました。どうぞよろしくお願いいたします。

図書館学の父ランガナータンの5法則「本は利用されるためのものである」「すべての読者にすべての本を」「すべての本にすべての読者を」「利用者の時間を節約せよ」「図書館は成長する有機体である」を胸に、利用してよかった、また利用したい、と思っていただける新屋図書館であり続けるよう、がんばります。

昨年、35年間勤めた職場を退職し、秋田に戻ってきました。4月から新屋図書館で働かせていただいております。還暦を過ぎた新米の図書館員ですが、一日も早く利用者の皆様のお役にたつことができるよう、がんばります。

自宅が田舎にあるため屋敷がむだに広く、昨年は草刈りで手一杯でしたが、今年は家庭菜園でも始めようと、先日、野菜の苗を買いこんできました。ところが、ずっと雨続き。こんなときは読書に限るのですが、ネット動画の誘惑に負けて時間を浪費する日々に反省しきり。動画視聴は控えて、週休日は晴耕雨読の生活を送れるよう努めたいと思います。